

茅野市ならではの小中一体型校舎

永明小学校・永明中学校新校舎



「つむぎ会い つむぎ合う 学び舎」

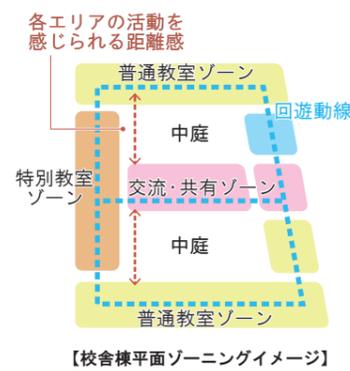
つむぎ会い つむぎ合う 学び舎

2022年2月に着工した「永明小学校・永明中学校新校舎」が2024年3月に完成しました。諏訪地域初となる施設一体型校舎は、4月から児童生徒の利用が始まっています。

新校舎に隣接する永明社会体育館も2024年3月に完成しました。小中学校の授業、部活動で使用するほか、地域のスポーツ、イベントなどでも使用されます。

新校舎の特徴

メディアセンターなどが設けられた「交流・共有ゾーン」を中心に配置し、中庭を介して8の字型動線で各ゾーンが繋がるコンパクトな校舎となっています。行き止まりがなく、回遊性のある校舎は、児童生徒の機能的な移動を促しています。中央に中庭があることで、各エリアとも良好な採光・通風が確保できる設計となっています。普通教室は、全ての教室を南面



させることで、十分な採光・採暖が得られる寒冷地に配慮した環境となっています。また、教室のまわりごとにアメニティスペース（トイレ・手洗い）を設けることで使い勝手が高まっています。

茅野市ならではの小中一体型校舎が実現

新校舎は、設計段階から地域住民や教職員、児童生徒といった利用者やワークショップを行い、永明中学校区の学校がどうあるべきか、小中一体型校舎の利点を活かした計画などについて検討を重ねてきました。行政と事業者だけでなく、多くの人が新校舎づくりに参加したことで茅野市ならではの小中一体型校舎が実現しました。

新校舎建設中には、児童生徒が作業を体験するワークショップも開催されました。モザイクタイルづくりや土壁づくり体験、木塗装体験などが行われ、児童生徒が一緒になって新校舎を作り上げていきました。

今後の予定

今後は、アリーナ建設、メイングラウンド整備、サブグラウンド整備、駐車場整備などが行われる予定です。



ビーナネット Chino



永明小・中学校新校舎完成引き渡し式
3月14日に行われた「永明小・中学校新校舎完成引き渡し式」の様子を動画で紹介しています。



永明中学校現校舎お別れ会
3月27日に行われた「永明中学校現校舎お別れ会」の様子を動画で紹介しています。

Interview



相手の喜びを自分の喜びとして 感じられる生徒に

矢崎 知広 さん
＝永明中学校 校長＝

永明中学校区（米沢小・永明小・永明中）では、新校舎建設を機会に、教育委員会指導の下、これからの時代を生きていく子どもたちのめざす子ども像を検討し、「相手に生きる私」としました。「相手に生きる私」は、相手の気持ちや立場になって考え、相手の生き方の中に自分自身を高めていく私です。地域の活動や自分の得意なことを精一杯やる中で、相手の思いなどを受けつつ、影響し合って、相手の喜びを自分の喜びとして感じられることを目指しています。

生徒の皆さんには、新校舎での学校生活を通じて、相手を思いやれる、相手の喜びを自分の喜びとして感じられる生徒に成長してほしいです。

床・壁・建具・家具には、県産や国産の木材がふんだんに使用され、木の暖かみと香りに包まれた学習・生活環境となっています。

学び・交流の拠点となるメディアセンターは、同線の要となる2階中央に配置することで、本を介した児童生徒の日常的な交流を促します。メディアセンター内は、児童生徒が休み時間にふらっと立ち寄れるオープンな場所とした一方で、閲覧スペースは扉を閉じることで落ち着いて授業を行うこともできます。

プレゼンテーションスペースは、階段状の床が配置され、プロジェクターや音響装置を備えた発表用途に対応したスペースです。階段状の床を上がると、3階のえいめいホールへつながります。

軽い運動や集会などにも使える多目的フロアの「えいめいホール」、休み時間にも気軽に利用でき、交流の場となる「コミュニケーションスペース」も設けられています。

普通教室は、明るく、ゆとりのある空間を確保しています。また、ワークスペースを設けるなど、成長段階や学習内容に合わせた間取りとなっています。



交流・学び合いを 米沢小の教育に生かしていく

木次 美穂 さん
＝米沢小学校 校長＝

永明小と永明中は、施設一体型、米沢小と永明中は、施設分離型の小中一貫校です。

昨年は、永明小と米沢小の5年生が一緒になって、永明寺山の植樹活動を行ったり、永明中で実施した「ジョブギャラリー（職業体験実習）」に4月から新中学1年生になる両小学校の6年生が参加するなど、行事による交流を通じて、小小連携、小中連携を図ってきました。

今後は、小中一貫校として、米沢小の児童も教職員も永明小中学校の新校舎を訪れる機会が増えると思います。その場面での児童同士の交流、職員同士の学び合いを米沢小の教育にも生かしていきたいと考えています。



お互いが相手のことを 考えながら生活する

宮下 健治 さん
＝永明小学校 校長＝

今まで、小学生と中学生が交流する機会は、教員たちが意図的に時間や場所を仕組んで設けていました。ですが、これからはメディアセンターやプレゼンテーションスペースなど、校内の交流スペースを通じて、小学生と中学生が自然発生的に、一緒に混ざり合うようになっていく。もちろん米沢小の児童ともたくさん交流したいです。

校舎という同じ空間で生活していく中で、お互いが相手のことを考えながら自分の生き方を考えていく、個性を出していくような生活ができて、永明中学校区のめざす子ども像である「相手に生きる私」に繋がっていくといいなと思います。



新校舎でも、たくさんの思い出を 築いていきたい

若林 陸 さん
＝永明中学校 生徒会長＝

新校舎が完成し、プレゼンテーションスペースなど、人と人が関わる場所が増えたことに生徒の皆さんがすごく喜んでいました。

旧校舎で築いてきたたくさんの思い出を、新校舎でも築きたいという思いを持つ生徒がたくさんいました。新校舎となり、歴史が塗り替えられてく年なので、僕たちの代でしっかりと新しい思い出を築き上げる取り組みをしていきたいと思っています。

今後は、生徒会のスローガンである「翔」をテーマに活動を行っていくため、新校舎を土台に、たくましく、律した姿で、未来へ羽ばたいていくことを意識しながら学校生活を送ってきたいと思います。



勉強も交流も楽しめる 明るい学校に

北野 光流 さん
＝永明小学校 児童会長＝

小中一体型校舎になって、休み時間などに、小学生と中学生と一緒に話しているのをよく見かけます。校舎内で中学の先輩に会って、中学校の話などを聞けると感じがいいと感じています。

児童の皆さんからは、トイレが綺麗になったという感想が多く聞かれました。他には、校舎全体が木の香りに包まれているところがいいという人もいたり、新設されたエレベーターに乗ってみたいという人もいました。

新しい設備の整った綺麗な環境を活用しながら、勉強も交流も楽しめる明るい学校になればいいなと思っています。



メディアセンター



集団活動スペース



えいめいホール



プレゼンテーションスペース



コミュニケーションスペース

普通教室



小学1・2年生

— 教室内でゆるやかに領域を分けて作業 —



小学3～5年生

— ワークスペースを含めた一体利用 —



小学6～中学3年生

— 落ち着いた学習空間を確保 —

特別教室



理科室



音楽室



調理室

木の暖かみに包まれた新たな学び舎 永明小学校・永明中学校新校舎 内観